

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者会
3. 国土交通省交通運輸記者会
4. 筑波研究学園都市記者会
5. 横須賀市政記者クラブ

令和4年12月14日同時配布



令和4年12月14日
国土技術政策総合研究所

国総研報告第68号『世界のコンテナターミナルにおける沖待ちの把握・分析手法の構築』を刊行します！ ～世界的に大きな問題となったコンテナターミナル沖合における滞船状況を分析する手法を開発しました～

本報告は、一定規模以上の船舶が自動で自船の位置や情報を発信するAISデータを活用してコンテナターミナルにおける沖待ちを網羅的に把握する手法を構築し、世界及び日本のターミナルについて多様な分析を行ったものです。コンテナの沖待ち時間・量とバースの利用状況との関係性を明らかにし、沖待ち削減方を提案し、沖待ちによるCO₂排出の増加量を推計し、2020年後半以降のコンテナ輸送が世界的に停滞したサプライチェーン・クライシス下の状況を分析して、さらに、リアルタイムで沖待ちを把握するシステムを開発しました。

<目次>

- 第1章 序論
- 第2章 沖待ち状況の把握方法
- 第3章 世界及び日本の主要港湾・ターミナルの沖待ち状況の分析
- 第4章 沖待ちによるCO₂排出増加量の推計
- 第5章 サプライチェーン・クライシス下の沖待ち状況の分析
- 第6章 リアルタイム把握システムの開発
- 第7章 結論

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先URL : <https://www.y.sk.nilim.go.jp/kenkyuseika/pdf/kh0068.pdf>

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾システム研究室

室長 赤倉 康寛

TEL : 046-844-5028 E-mail : akakura-y83ab@mlit.go.jp